

地方創生に向けた戦略

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「長岡版イノベーションの推進」を、戦略推進の共通の視点とし、この視点に基づく6つの「戦略」（若者定着、子育て、教育、働く、交流・連携、安全安心）から様々な施策を実施し、人口減少の歯止めを着実に進めていきます。

長岡版イノベーションの基本的な考え方

変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現します。DX・新技術の導入や地域内外の多様な人材が活躍する場が求められているこの状況を産業転換と経済発展の大きなチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に新たな発想や先端技術を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組みます。

長岡版イノベーションの目的・方針

産業の振興・起業の促進

- ・新たな産業クラスタを形成し、学生や地場産業との連携を促進
- ・学生や若者が起業しやすい環境の創出
- ・長岡で最先端技術に触れる機会の創出
- ・長岡における新しい産業の動きの可視化

人材の育成

- ・「楽しむ」から「学ぶ」、そして「仕事」につながるコンテンツの提供
- ・長岡の未来を支える産業人材の育成

市民生活の向上

- ・デジタル化による市民生活の利便性向上
- ・新しいツールを活用し個々の市民に最適な情報・サービスの提供
- ・新しい技術や考え方を取り入れた行政課題の解決

行政事務の効率化

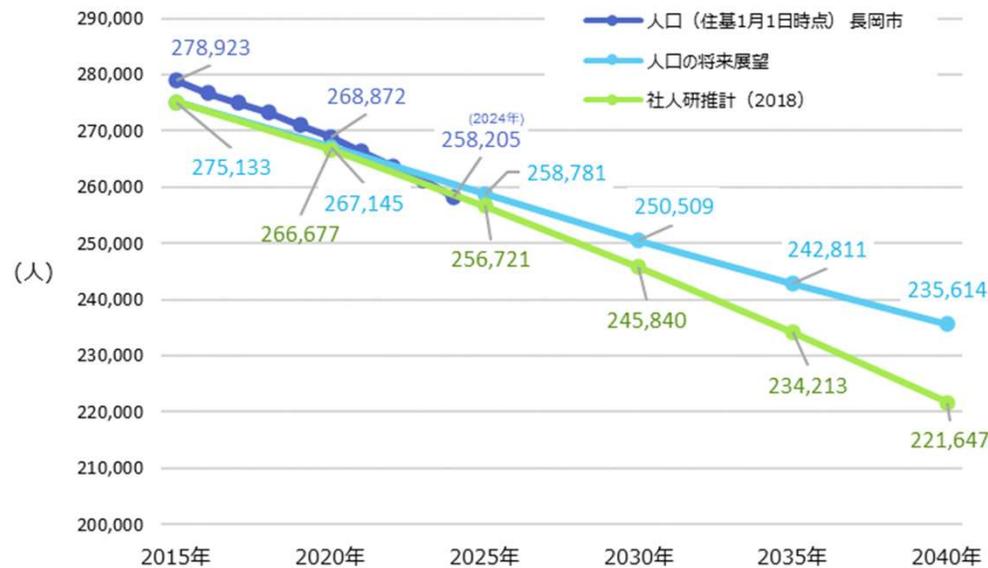
- ・市民目線に立ち様々なノウハウを活用した、行政事務の徹底的な見直し
- ・市が持つデータを活用した市民サービスの構築
- ・事務の自動化による人的資源・財源の有効活用

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(人口の将来展望の評価)

■人口推移状況の総括 (社会減拡大：自然減拡大)

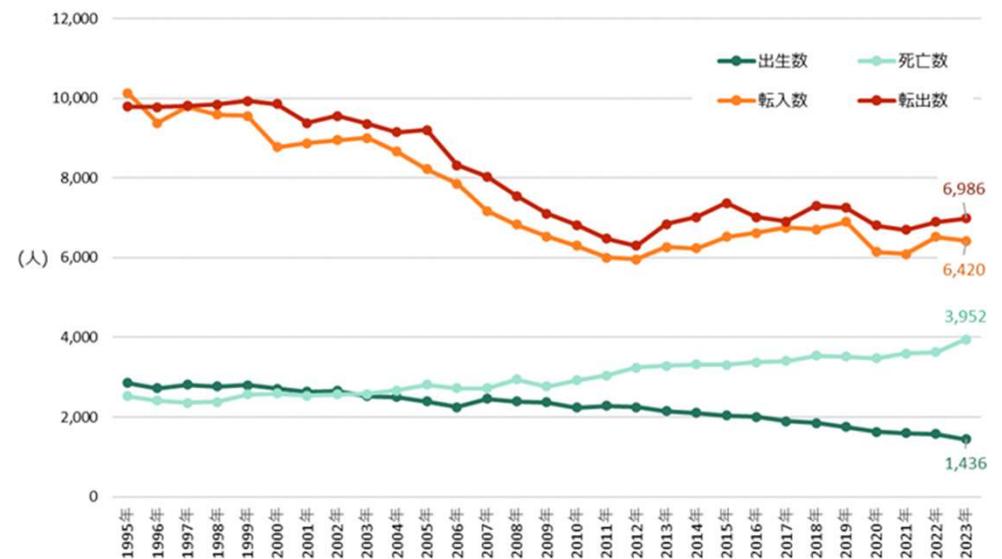
- 2023年から2024年にかけては1.2% (3,082人) の人口減少が生じていることから、同程度の減少が続いた場合、2025年1月の人口は国立社会保障・人口問題研究所 (以下、「社人研」という) の推計を下回る255,159人となることが予想される。
- このまま人口減少が続いた場合、2040年に221,647人という社人研の推計を大幅に下回ることが危惧される。
- 社会減については、1998年以降過去25年転出超過続いているものの、現戦略策定以降 (2020年) は概ね横ばいで推移するなど、拡大は抑えられており、現戦略の成果が一定程度現れているものと思われる。
- 一方で、2003年以降過去20年自然減が続いており、年間死亡者数の増加 (10年間比約3,300人→約4,000人) と出生数の減少 (10年前比約2,100人→約1,400人) により、自然減が拡大している。
- 今後は、引き続き人口定着に取り組むと同時に、出生数減少の抑制に向けて、市の最重要課題として、これまで以上に注力していくことが必要である。

人口推移と人口将来展望、社人研推計の比較



【出典】
 人口：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(2015年～2022年) ※年次データ
 2023年、2024年については、長岡市webサイト「住民基本台帳人口・世帯数」をもとに年次の数値を算出
 人口の将来展望：第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略/人口ビジョン～長岡リニューベーション (長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略) ～
 社人研推計 (2018)：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成30 (2018) 年推計)」

社会増減 (転入・転出)、自然増減 (出生・死亡) の推移



【出典】
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(1995年～2022年) ※2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。出生・死亡・転入・転出数は2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。
 2023年については、長岡市webサイト「住民基本台帳人口・世帯数」をもとに年次の数値を算出

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(人口の将来展望の評価)

■ 社会増減の状況

【総合戦略における将来展望】

- 若年層（10歳～39歳）の社会減が徐々に改善することを目指し、2035年に社会増減が均衡。その後は社会増になることを展望。

【状況】

- 2023年の転出超過数は566人であった。
年齢別に見ると、若年層（10歳～39歳）において556人の転出超過であった。
- また、男女別の転出超過率を比較すると2023年は、男性に比べて女性の転出超過率の方が2%ほど高くなっている（女性：298人、男性：268人）。
転出理由については「職業」が最も多く、4割強を占めている。

【課題・今後の方向性】

- 転出数の拡大は抑えられていることから、成果が一定程度出ていると考えられる。社会減改善にあたっては、高校生の職業体験による市内企業を知ってもらう取組の推進や、NAGAOKA WORKERの定着や「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」（通称：はたプラ）の推進等引き続き、魅力的な仕事や多様性のある人材が活躍できる場の創出に取り組むことが必要である。

社会増減の推移（2020-2023）

年次	2020	2021	2022	2023
転入数（人）	6,149	6,094	6,529	6,420
転出数（人）	6,833	6,706	6,915	6,986
社会増減数（人）	-684	-612	-386	-566

年齢層別転出超過数（2020-2023）

年齢層	2020			2021			2022			2023		
	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性	計
0-9歳	44	28	72	-38	-10	-48	-2	-12	-14	3	-18	-15
10-39歳	333	245	578	282	328	610	325	105	430	311	245	556
40歳以上	57	-23	34	20	30	50	8	-38	-30	-16	41	25
計	434	250	684	264	348	612	331	55	386	298	268	566

男女別転出超過数、転出超過率（2020-2023）

性別	2020		2021		2022		2023	
	転出超過（人）	転出超過率（%）	転出超過（人）	転出超過率（%）	転出超過（人）	転出超過率（%）	転出超過（人）	転出超過率（%）
女性	434	116	264	109	331	111	298	110
男性	250	107	348	111	55	101	268	108
合計	684	111	612	110	386	106	566	109

2023年の移動理由別転出入数

移動理由	転入数（人）		転出数（人）	
	女性	男性	女性	男性
学業	231	333	197	204
	計	564	401	
	女性	292	238	
住宅	302	594	228	466
	計	594	466	
	女性	466	261	233
家族	261	727	233	719
	計	727	719	
	女性	1,152	2,005	1,087
職業	2,005	3,157	1,838	2,925
	計	3,157	2,925	
	女性	273	139	244
婚姻	139	412	128	372
	計	412	372	
	女性	535	431	995
その他	431	966	1,108	2,103
	計	966	2,103	
	女性	2,949	3,471	3,247
合計	3,471	6,420	3,739	6,986
	計	6,420	6,986	

【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」および 長岡市住民基本台帳 転入出者情報

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(人口の将来展望の評価)

■ 自然増減の状況

【総合戦略における将来展望】

- 合計特殊出生率については、わが国全体の目標値の達成を目指し、2015年の1.45から上昇し、2040年には国が安定的な人口推移のために長期的な目標として示している「2.07」に到達するものと展望。

【状況】

- 2020年から2022年にかけての合計特殊出生率は、概ね1.35程度で推移しており、新潟県や全国と比べるとやや高いものの、段階的上昇には至っていない。
- また、出生数の低減（2020年1,631人→2023年1,436人、）と死亡数の増加（2020年3,475人→2022年3,952人）に伴い、自然減は拡大傾向にあり、2023年には2,516人減となっている。
- 2020年から2022年にかけての長岡市の婚姻率（人口100人に対する率）は、おおむね0.35程度で推移しており、策定後はほぼ横ばいとなっている。

【課題・今後の方向性】

- 出生数の改善に向けて、市内企業を知ってもらう取組や魅力的な仕事の創出、結婚支援の実施、子育て環境や支援の満足度を高める取組みをさらに進めることにより結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりに注力していくことが必要である。

自然増減等の推移（2020-2023）

年次	2020	2021	2022	2023	
出生数（人）	1,631	1,595	1,571	1,436	
死亡数（人）	3,475	3,599	3,627	3,952	
自然増減数（人）	-1,844	-2,004	-2,056	-2,516	
婚姻数（組）	927	937	881	-	
合計特殊出生率	長岡市	1.36	1.34	1.37	-
	新潟県	1.33	1.32	1.27	-
	全国	1.33	1.30	1.26	-

【出典】 出生数、死亡数：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（2020年～2022年）※年次データ
 2023年については、長岡市ウェブサイト「住民基本台帳人口・世帯数」人口月別移動状況（令和4年、5年）をもとに年次の数値を算出
 自然増減数：上記をもとに算出
 婚姻数：長岡市「長岡市統計年鑑」（令和5年）2-5 人口動態
 合計特殊出生率：新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部「健康福祉環境部の概要」（令和6年4月）
 ※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数にあたる。

長岡市の婚姻組数等の推移



【出典】 長岡市「長岡市統計年鑑」
 ※婚姻率、離婚率…人口100人に対する率

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

■戦略の進捗状況

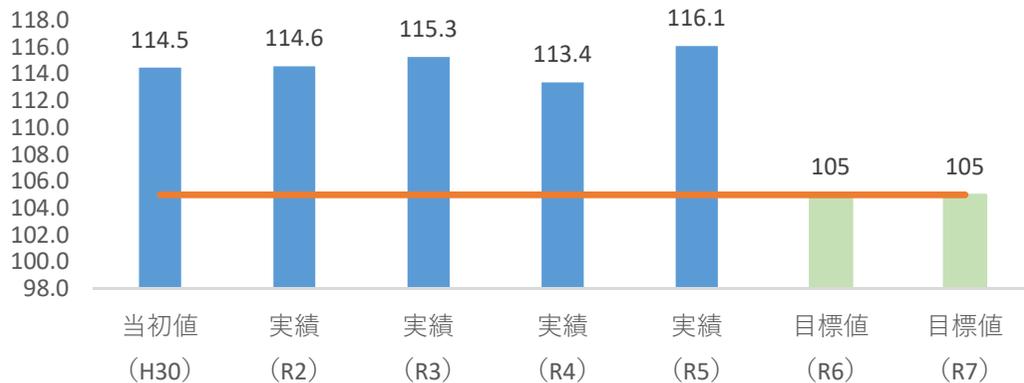
- 現戦略で掲げた施策は概ね実行されたが、特に「4 働く」「5 交流・連携」については、新型コロナウイルス感染症流行の影響を大きく受けた。
- 現時点における目標の達成状況については、「3 教育」及び「6 安心安全」については達成しているが、その他の戦略については達成に至っていない。
- 若者定着については、引き続き厳しい状況だが、ミライ工岡を拠点としながら、魅力的な仕事や若者や女性など様々な人材が活躍できる場の創出を進めている。

戦略1 若者定着

若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進めます。

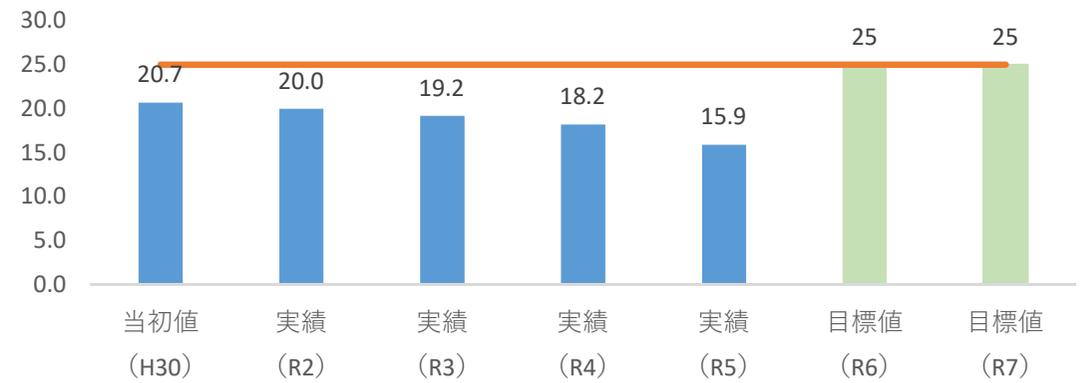
指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R6)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
若年層の 転出者超過率 (%)	114.5	114.6	115.3	113.4	116.1	105	105 (据え置き)	<ul style="list-style-type: none"> ・転出者のうち、20代が7割以上、そのうち5割以上の理由が職業であり、若者が選択しやすい職業や希望する業態が少ないことが考えられる ・転出者のうち6割以上が県外へ転出しており、そのうち4割以上が首都圏（東京都、埼玉県、神奈川県）に転出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性をはじめとした様々な人材が活躍できるコミュニティの創出や市内企業の認知度向上、若者が選択しやすい仕事づくりを進める ・テレワークの推進、ミライ工岡を拠点としたキャリアアップ支援や人材育成支援を実施する ・市内企業の事業承継や農業等の担い手確保支援を通じ、移住者の増加や地域企業等の活性化を図る
市内就職率 (%)	20.7	20.0	19.2	18.2	15.9	25	25 (据え置き)	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足に伴う関東圏からの好待遇の求人増加や都会への憧れなどから、県外就職が増加している ・市内就職率が2.3ポイント減少、15専門学校の市内就職率が5.3ポイント減少し26.7%に落ち込んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」（通称：はたプラ）の賛同企業が300社を超えたほか、社員の奨学金返済支援事業を始める企業が増えつつある ・従業員の働き方や福利厚生を向上させる市内企業が増えている。引き続き学生から市内企業を知ってもらう取組みを進める

若年層の転出超過率（%）



■ 転出者超過率 ■ 目標値

市内就職率（%）



■ 市内就職率 ■ 目標値

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

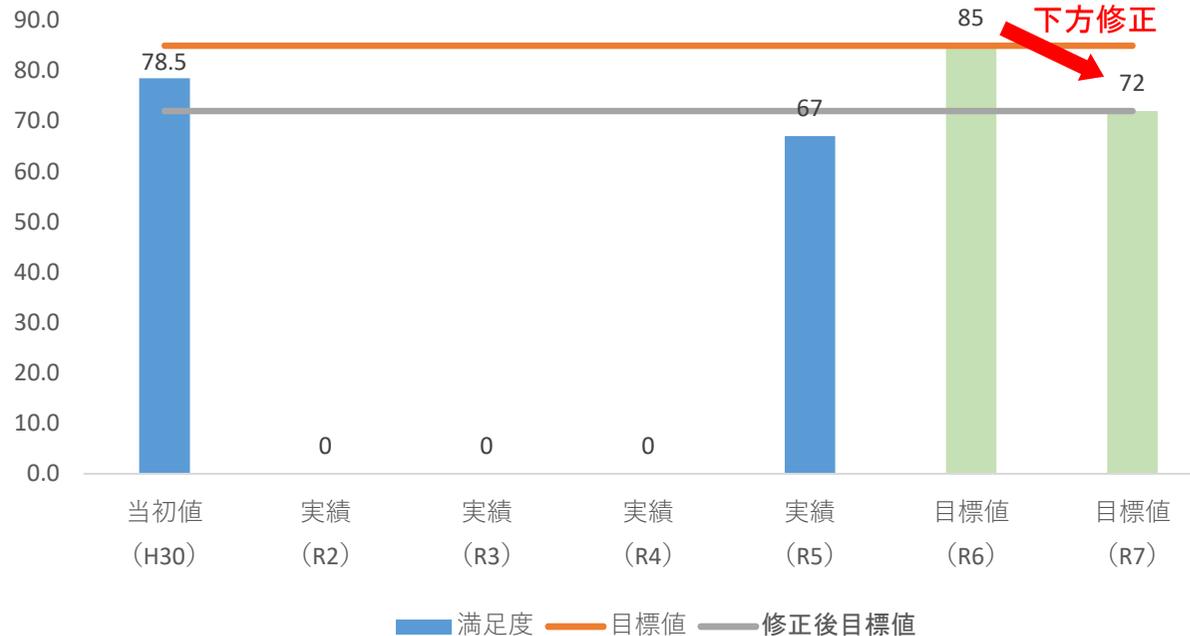
■ 戦略の進捗状況

戦略2 子育て

子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添った切れ目のない支援をすることで、長岡で子どもを産み育てたいと思うまちづくりを進めます。

指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R5)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
子育て環境や支援の満足度 (%)	78.5	—	—	—	67	85	72 (下方修正)	<ul style="list-style-type: none"> 今回（R5年度）の「ニーズ調査」における子育て環境や支援に対する保護者の意見・要望等としては、給付金など経済的な支援の拡充や学齡児童の遊べる場所、病児・病後児保育の利用に関する事等があげられる 指標については、前回調査（H30年度）は5段階評価であったが、状況をより正確に把握するため、今回から評価“3”を廃し、4段階評価に改めたことにより実績値が低下した 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「ながおか出産・子育て応援ギフト」の実施や長岡版ネウボラの推進、子育ての駅・児童クラブ等で保護者を支援する 不登校の子ども居場所づくり、配慮が必要な子どもや保護者のための相談・支援体制の強化、専門員による「ひきこもり相談支援室」の設置などにより、子育て環境や支援への満足度を高める取り組みを進める

子育ての環境や支援への満足度 (%)



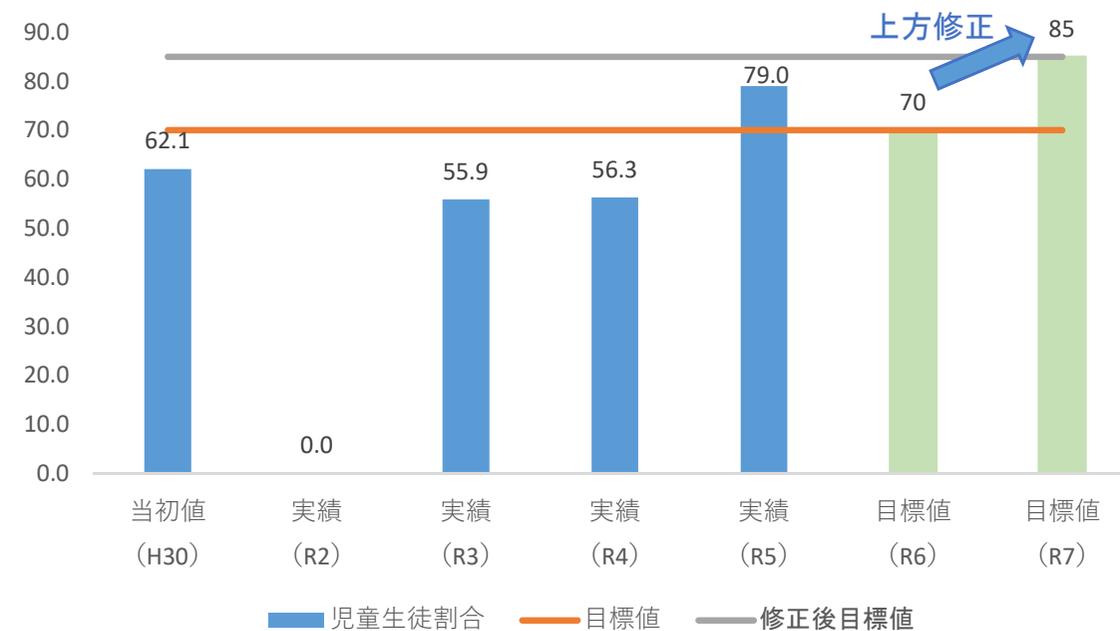
第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

戦略3 教育

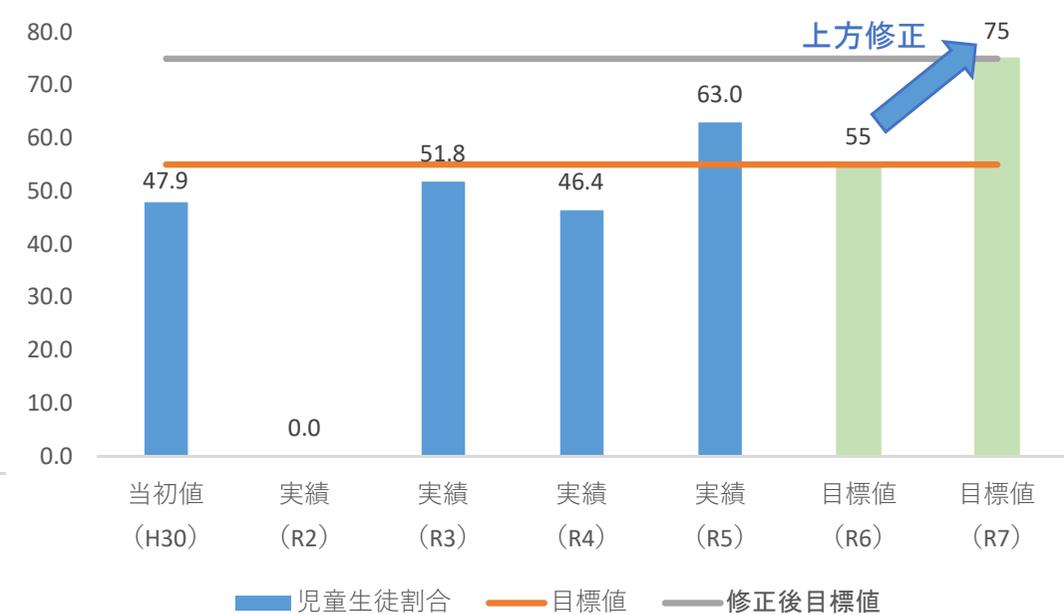
米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来の長岡を背負って立つ人を育てます。

指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R6)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）（%）	62.1	—	55.9	56.3	79	70	85 (上方修正)	<ul style="list-style-type: none"> 地域と協働して活動する機会の増加や「こめぶら」の中で、地域に関する動画を多く提供したため 全国学力状況調査の設問が変更され、小学生が答えやすい言葉に変わった（「何をすべきか考えることがある」→「何かしてみたいと思う」）ことで増加したと考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 長岡版コミュニティ・スクールの活性化に向けて、CSディレクターの情報交換会を行い、取組内容を共有する 長岡教育情報プラットフォーム「こめぶら」の改修作業を行い、児童生徒・保護者・学校関係者が地域に関するコンテンツが見やすく、探しやすく、使いやすいものとする
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）（%）	47.9	—	51.8	46.4	63	55	75 (上方修正)	<ul style="list-style-type: none"> 地域と協働して活動する機会の増加や「こめぶら」の中で、地域に関する動画を多く提供したため 全国学力状況調査の設問が変更され、中学生が答えやすい言葉に変わった（「何をすべきか考えることがある」→「何かしてみたいと思う」）ことで増加したと考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 長岡版コミュニティ・スクールの活性化に向けて、CSディレクターの情報交換会を行い、取組内容を共有する 長岡教育情報プラットフォーム「こめぶら」の改修作業を行い、児童生徒・保護者・学校関係者が地域に関するコンテンツが見やすく、探しやすく、使いやすいものとする

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）（%）



地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）（%）



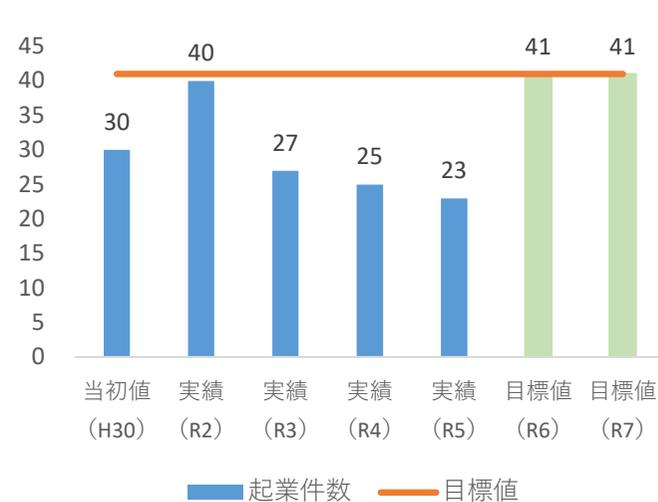
第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

戦略4 働く

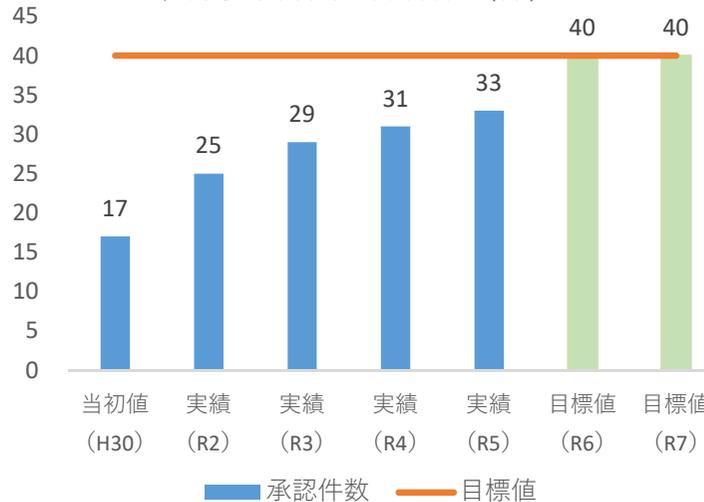
若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。

指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R6)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
起業支援センターながおかでの支援により起業した件数 (件/年)	30	40	27	25	23	41	41 (据え置き)	<ul style="list-style-type: none"> 起業を先延ばしにするなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、起業件数が減少した 相談件数は前年度を上回る（R4：266件→R5：350件、前年比1.3倍）など、若者等の起業機運の醸成はできている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き新潟県スタートアップ拠点CLIP長岡と連携しながら、ミライエ長岡イノベーションサロンを活用し、若手起業家及び起業予備軍（4大学1高専学生等）のコミュニティ形成に取り組むことでさらなる企業機運の醸成及び定着につなげる 起業に関するワンストップ相談、セミナーや講演会の開催等を通じて起業支援の取組みを進める
地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数(件)	17	25	29	31	33	40	40 (据え置き)	<ul style="list-style-type: none"> 長岡北スマート流通産業団地の分譲完了が承認件数鈍化の要因と考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の立地需要に応じた新たな産業団地の整備や土地取得等に係る優遇制度の利用促進等を通じて企業支援の取組みを進める
担い手農家の農地利用割合 (%)	64.5	66.0	66.9	67.2	67.8	70	70 (据え置き)	<ul style="list-style-type: none"> 担い手への集積は進んでいるが、経営規模の拡大は限界に近づいている 圃場条件の違いから経営の効率化のための集約化調整が困難な状況 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域計画」の策定に向けた話し合いの中で担い手農家への集積・集約化を進める 担い手農家の経営力強化に向けたサポートを、普及センター、JA等と連携し行う スマート農業の普及を推進し、作業の省力化により農地の集積率の向上を図る。

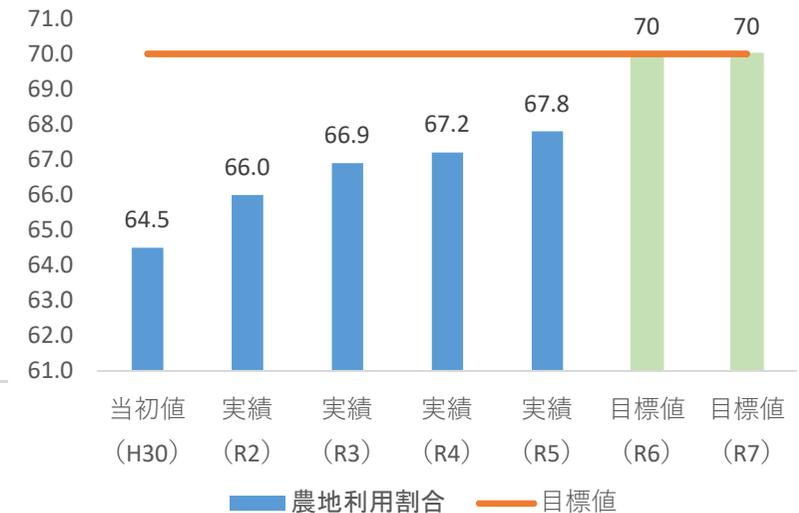
起業支援センターながおかでの支援により起業した件数（件/年）



地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数（件）



担い手農家の農地利用割合（%）



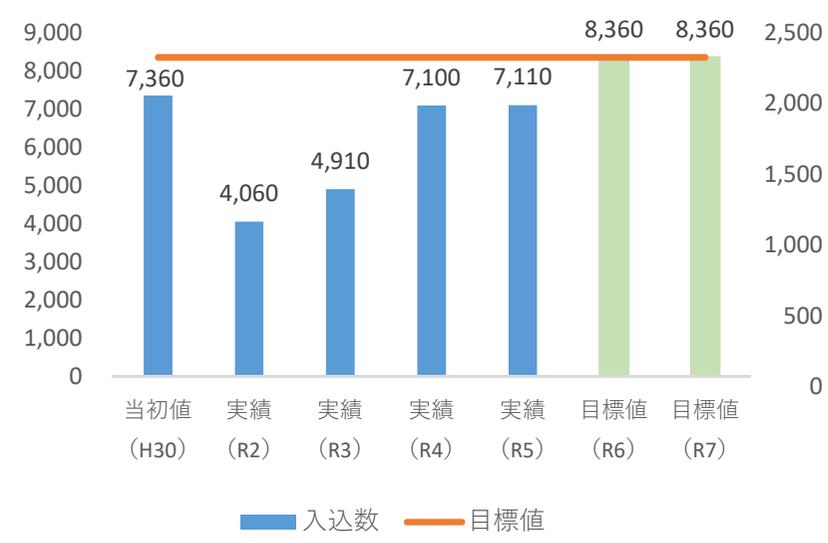
第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

戦略5 交流・連携

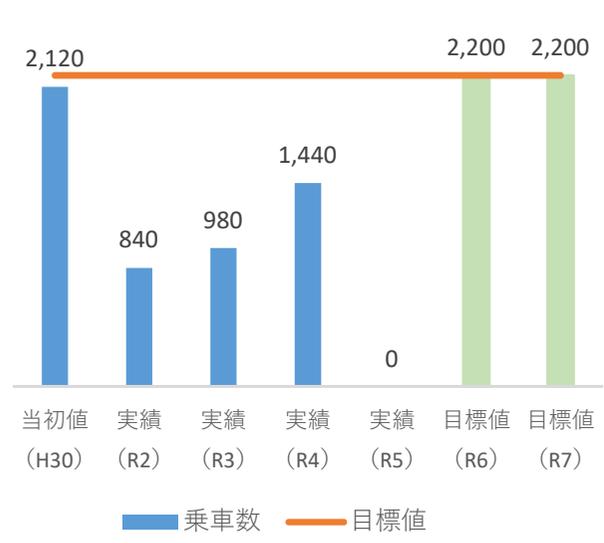
長岡の歴史、文化、自然、特産品などの豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く国内外に情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、近隣・関係市町村等との広域連携の積極的な推進や、国際的な交流の充実により、交流人口・関係人口を増やします。

指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R6)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
主要集客地点入込数 (千人)	7,360	4,060	4,910	7,100	7,110	8,360	8,360 (据え置き)	・新型コロナウイルス感染症に起因し、社会経済情勢が変化したため	・市場の変化に応じた新たな試みを臨機応変かつ継続的に取り組む ・観光資源の魅力向上と情報発信強化により、交流人口・関係人口の増加に向けた取組みを進める
JR長岡駅乗車数 (千人)	2,120	840	980	1,440	R6.8頃 公表	2,200	2,200 (据え置き)	・R5実績公表後評価	・R5実績公表後評価
市内5インターチェンジ 利用台数 (千台)	12,400	—	10,470	10,980	11,580	13,120	13,120 (据え置き)	・新型コロナウイルス感染症に起因し、社会経済情勢が変化したため	・市場の変化に応じた新たな試みを臨機応変かつ継続的に取り組む ・観光資源の魅力向上と情報発信を強化により、交流人口・関係人口の増加に向けた取組みを進める

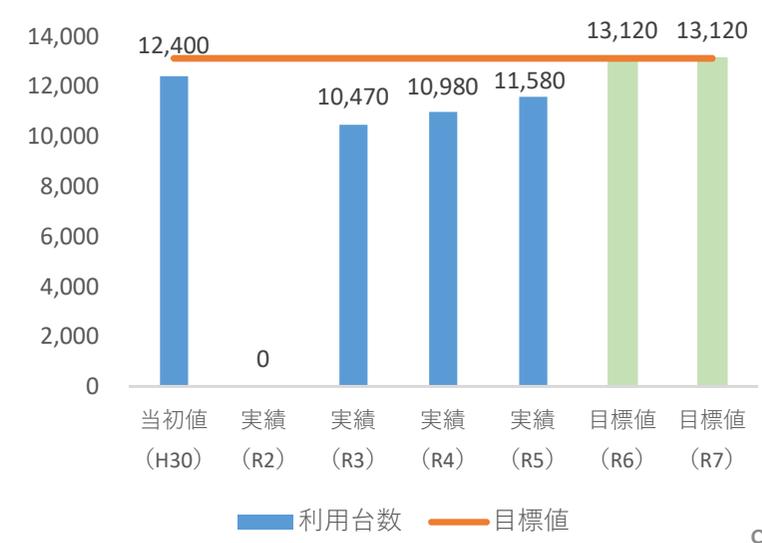
主要集客地点入込数（千人）



JR長岡駅乗車数（千人）



市内5インターチェンジ利用台数（千台）



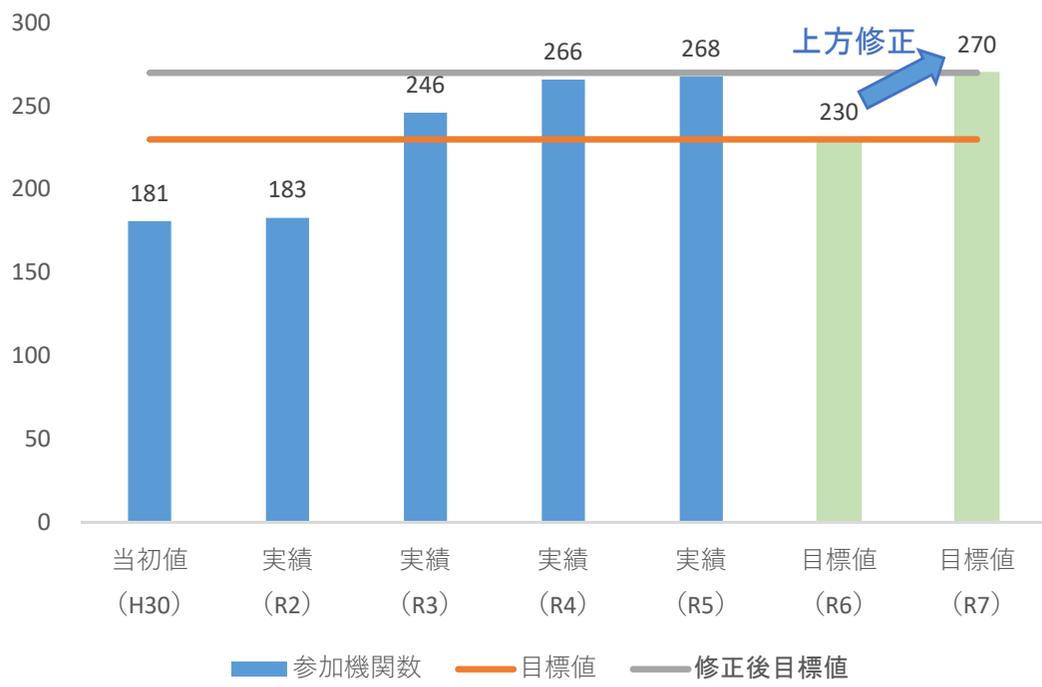
第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（6つの戦略の評価）

戦略6 安全安心

将来にわたって住み続けたいと思えるような、誰もが充実し、安全で安心して暮らすことのできる、快適なまちづくりを進めます。

指標	当初値 (R元)	実績				目標値 (R6)	延長後目標値 (R7)	課題と原因分析	今後の対応
		R2	R3	R4	R5				
フェニックスネットの参加機関数 (機関)	181	183	246	266	268	230	270 (上方修正)	引き続き、参加していない医療機関や介護施設等に対する働きかけを行う	引き続き、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、各団体の会員の参加を促す フェニックスネットの勉強会の開催や多職種勉強会等の機会を利用し、介護施設等への参加に注力する
フェニックスネットの登録者数 (人)	4,705	6,387	8,004	9,924	11,027	10,000	13,000 (上方修正)	登録者数は順調に増加 市政だよりやPR動画の放映による事業周知に加え、電子による登録受付の周知に力を入れたため 引き続き市民への周知を行う	引き続き、市政だよりやPR動画の放映による事業周知やイベント等での出張受付等に取り組み、全市民を対象に登録拡大を図る チラシ等は登録のメリットを伝える工夫を行う

フェニックスネットの参加機関数（機関）



フェニックスネットの登録者数（人）

